



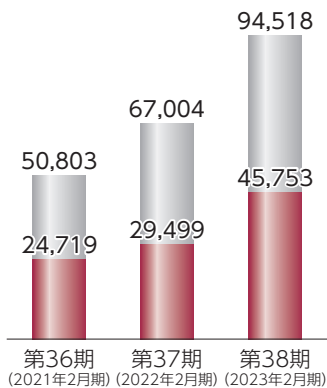
2023年4月入社の新入社員

業績ハイライト (連結) Consolidated Financial Highlights

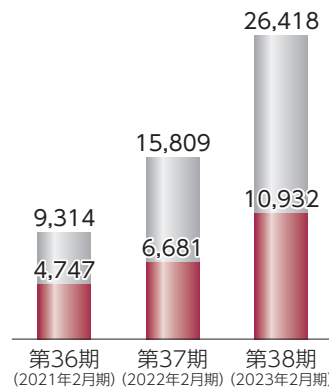
2023年2月期の業績

| | | | |
|--|---|---|--|
| <p>売上高</p> <p>94,518 百万円</p> <p>対前期比</p> <p>41.1 %増 ↑</p> | <p>営業利益</p> <p>26,418 百万円</p> <p>対前期比</p> <p>67.1 %増 ↑</p> | <p>経常利益</p> <p>30,344 百万円</p> <p>対前期比</p> <p>70.3 %増 ↑</p> | <p>親会社株主に帰属する当期純利益</p> <p>21,384 百万円</p> <p>対前期比</p> <p>66.7 %増 ↑</p> |
|--|---|---|--|

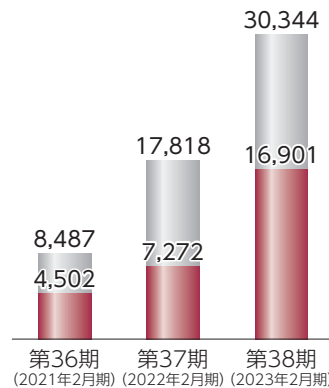
■ 通期
■ 第2四半期累計
(単位:百万円)



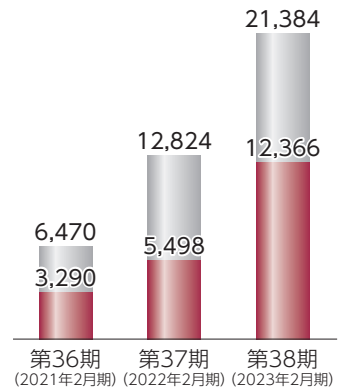
■ 通期
■ 第2四半期累計
(単位:百万円)



■ 通期
■ 第2四半期累計
(単位:百万円)



■ 通期
■ 第2四半期累計
(単位:百万円)



2024年2月期の業績見通し

| | | | |
|--|---|---|--|
| <p>売上高</p> <p>88,026 百万円</p> | <p>営業利益</p> <p>21,619 百万円</p> | <p>経常利益</p> <p>21,553 百万円</p> | <p>親会社株主に帰属する当期純利益</p> <p>15,718 百万円</p> |
|--|---|---|--|



半導体技術は社会インフラとして成長を続けており、当社はそれを支える企業のひとつとして、世界を舞台に切磋琢磨しております。当期は旺盛な半導体需要も支えとなり、おかげさまで前期に続き過去最高の売上高、利益を達成することができました。

今後も当社製品が、人類の生活基盤の一助となるよう、革新的な技術開発に取り組んでまいります。

代表取締役社長

藤代 祥之

当期の経営成績

近年続くIoT、5Gなどの情報通信技術の進化や自動車のEV化、自動運転化等を背景に、世界各地で半導体製造装置の需要は拡大しました。このような状況の中で、当社グループは半導体関連装置の受注が好調に推移し、過去最高の売上高となりました。また、長納期化が解決していない部品はあるものの、先行手配や生産システムによる体制の強化と、新工場の稼働による生産能力の拡大により、増益となりました。

この結果、為替変動の影響も受け、当期の経営成績は、売上高945億円(前期比41.1%増)、経常利益303億円(前期比70.3%増)となり、4期連続の増収増益となっております。

来期の見通し

半導体・FPD関連装置事業におきましては、現在はメモリ半導体が世界的な需要減速に入っている点や、短期的には各国の最先端半導体製造装置に対する輸出管理強化の影響などもふまえ、来期は減収減益の予想です。ただ、中長期的には生活に欠かすことのできない社会基盤を支える半導体の市場は力強く成長すると見込んでおります。当社グループとしては、引き続き、新しい技術・製品開発を進めます。また、顧客動向を注視しながら、受注量の増減に機敏に対応できるよう努めてまいります。新たに加わった分析装置分野についても、製品開発とグローバルサポート体制の強化に取り組みます。ライフサイエンス事業では、新型コロナウイルス感染症の影響による出荷延期等が解消していくと思われまますので、関連会社との連携を図り、中国向けの販売促進活動を展開してまいります。

これにより、2024年2月期の連結業績予想につきましては、売上高880億円(前期比6.9%減)、経常利益215億円(前期比29.0%減)の計画です。グループ全体として、来期は新製品の開発、生産システムの強化、製品リードタイムの短縮などを積極的に推進してまいります。

主な拠点紹介



TOPIC 1 2022年の主な設備投資

当社のマザー工場であるベトナムのRORZE ROBOTECHに8棟目の工場が完成。上海では、中国国内のお客様へ向けて工場の準備が整いました。また、再び活性化の兆しがみえる日本国内での需要に対して、九州工場のクリーンルーム拡張をおこないました。世界各地のお客様の期待に応えるべく、グループ全体で生産力の増強に努めています。



ベトナム8棟目の新工場
(ハイフォン市)

生産能力
1.5~2倍



中国の新工場
(上海市)

生産能力
8倍

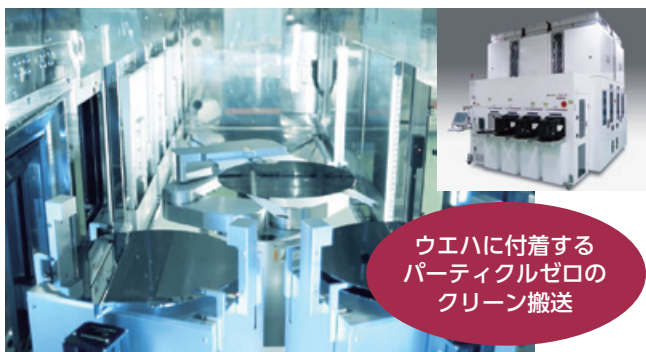


拡張した九州工場
(熊本県合志市)

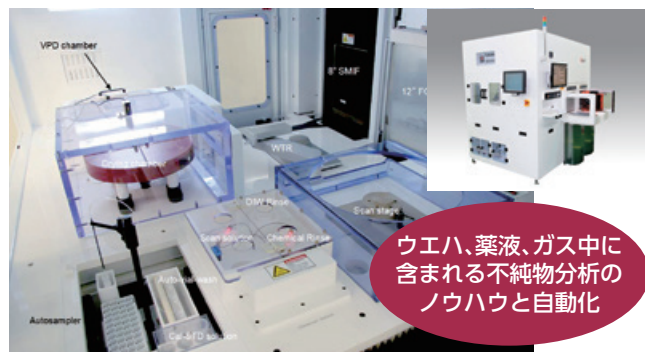
生産能力
2倍

TOPIC 2 株式会社イアス(東京都日野市)がローツェグループへ

半導体製造における不純物分析装置を手がけるイアス社がローツェグループの一員となりました。独自の分析法や計測技術を使用した製品は、すでに世界の冠たる半導体メーカーへ納められています。微細化の進む半導体製造において、イアス社の知見はこれまでグループで培ったクリーン搬送技術の更なる進化へ寄与するものと考えており、よりお客様へ満足いただける製品の実現へ向けて、一丸となって邁進してまいります。



ウエハに付着する
パーティクルゼロの
クリーン搬送



ウエハ、薬液、ガス中に
含まれる不純物分析の
ノウハウと自動化

異物混入防止による半導体の歩留まり向上へ

TOPIC 3 広島大学を中心とする半導体研究・人材育成の産官学連携組織へ参画

世界最先端の半導体関連研究・開発および人材育成を目的とし、2023年3月に「せとうち半導体共創コンソーシアム」が設立しました。当社も設立メンバーとして参画し、1980年代から半導体デバイス研究をリードしてきた広島大学ナノデバイス研究所を中心に、その趣旨に賛同する半導体関連企業十数社(2023年4月時点)、国、地方自治体と共に、一体となって取り組んでまいります。



本コンソーシアムの活動拠点となる広島大学ナノデバイス研究所J-Innovation Hub棟(Jイノベ棟)の完成式典。この場所に大学から研究者や学生、各企業からエンジニア達が集い、様々なディスカッションや研究開発が今後おこなわれていきます。

本コンソーシアムでの活動に際し、企業版ふるさと納税を活用し、東広島市へ寄付をおこないました。

主要な事業内容

(2023年2月28日現在)

| セグメント | 品目 | 主要製品名 |
|---------------|--------------|--|
| 半導体・FPD関連装置事業 | 半導体関連装置 | 大気用ウエハ搬送装置 真空用ウエハ搬送装置 ウエハ搬送ロボット等(単体製品) |
| | FPD関連装置 | ガラス基板搬送装置 ガラスカッティングマシン |
| | モータ制御機器 | ステッピングモータ用ドライバ コントローラ |
| ライフサイエンス事業 | ライフサイエンス関連装置 | インキュベータ(細胞培養装置) |

株式の状況

(2023年2月28日現在)

発行可能株式総数 35,280,000株
発行済株式の総数 17,281,253株

(自己株式358,747株を除く)

株主数 7,498名

大株主

| 株主名 | 当社への出資状況 | |
|---|------------|--------|
| | 持株数 | 持株比率 |
| 崎谷文雄 | 6,194,200株 | 35.84% |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 2,121,300 | 12.28 |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口) | 913,400 | 5.29 |
| 藤代祥之 | 737,600 | 4.27 |
| 株式会社中国銀行 | 320,000 | 1.85 |
| J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 381572 | 284,100 | 1.64 |
| HSBC BANK PLC A/C TTF AIFMD GENERAL OMNIBUS | 158,200 | 0.92 |
| J.P. MORGAN 証券株式会社 | 147,680 | 0.85 |
| STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234 | 142,000 | 0.82 |
| THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044 | 132,300 | 0.77 |

(注) 当社は、自己株式358,747株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

| | |
|-------------|---|
| 決算期 | 毎年3月1日から翌年2月末日まで |
| 定時株主総会 | 毎年5月下旬 |
| 基準日 | 定時株主総会・期末配当：毎年2月末日 中間配当実施の場合：毎年8月31日 |
| 株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 特別口座の口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 郵便物送付先 | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| (電話照会先) | 電話0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び 全国各支店で行っております。 |

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

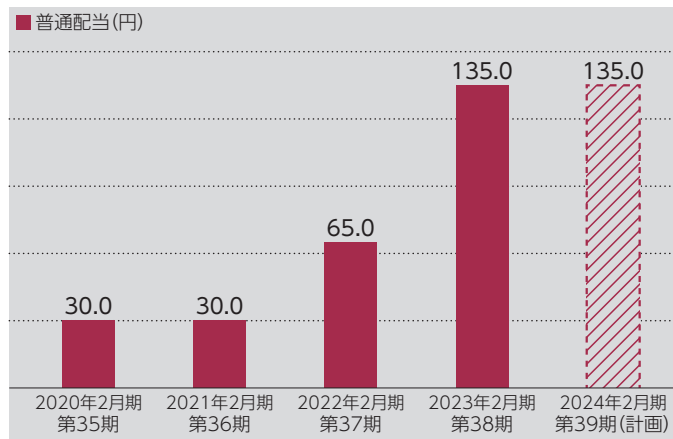
役員

(2023年5月30日現在)

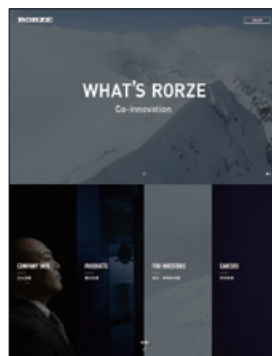
| 地位 | 氏名 |
|---------|------|
| 代表取締役社長 | 藤代祥之 |
| 取締役 | 中村秀春 |
| 取締役 | 早崎克志 |
| 取締役相談役 | 崎谷文雄 |
| 取締役 | 羽森寛 |
| 取締役 | 森下秀法 |
| 常勤監査役 | 下出一益 |
| 監査役 | 栗巢普揮 |
| 監査役 | 金浦東祐 |

(注) 1. 羽森寛、森下秀法の両氏は、社外取締役です。
2. 下出一益、栗巢普揮及び金浦東祐の3氏は、社外監査役です。

配当実績



ホームページのご案内



詳しい会社情報や
財務関連情報をご
覧いただけます。



スマートフォン
にも対応!

□ーツェ

検索

<https://www.rorze.com>

株主の皆様へ毎年送付しております、本「事業報告書」につきましては、今回を最後に発行を取り止めさせていただきます。主要な情報は当社ホームページにて、ご参照いただけますと幸いです。何卒ご理解賜りますよう、お願い申し上げます。

